

## 日高地区概況

令和8年1月1日現在  
世帯数 9,164  
人口 20,376  
男 9,903  
女 10,473

※この概要は日高支所管内の統計による



## 第228号

発行日 令和8年2月1日  
発行 日高学区市民自治会  
https://hitaka.hitachi-community.jp  
代表者 志賀 勝弘  
編集責任者 田所 剛  
印刷 CRAFT おぎづ

地域の絆を大切に  
令和8年新春顔合わせ会

年頭挨拶を行う志賀会長

日高学区新春顔合わせ会が1月10日、日高交流センターで開かれました。

志賀勝弘市民自治会会長から「昨年は振込み詐欺などの犯罪、インフルエンザの蔓延、能登地震をはじめとした自然災害が発生しました。このような日々の不安を払拭し年の初めの地域の皆さんの交流の場として、この顔合わせを企画しました。近年、高齢化によるコミュニティが衰退する中、自然災害に対応するにも一人一人の絆づくりが大切です。地域の生活には、行政の施策と共に、コミュニティの活動が重要であり、昨年も鳥追い祭り、おんもさ祭り、敬老の集いなどをおして、

自治会総務部の飛田美帆さんが大賞に当選し、万歳三唱で閉会となりました。

コミュニティのあり方を考えました。多くの人が意見を出し合い確認するこの顔合わせ会を、丙午のこの一年の新たな出発点としたいと思ひます。その後、来賓の鈴木勝也日立市民生活環境部次長、添田絹代地元市議から挨拶をいただいた後、約100人の参加者による歓談が行われました。

初笑い抽選会では、



日立市民の歌を斉唱

参加者による今年の抱負  
海老沢 清さん  
今年1月に93歳になりました。先日聞いた民話の会の話に興味を持ったので、今年は自分も話す側に挑戦し

## 無病息災を願ひ鳥追い祭りを開催



去る1月17日、日高交流センターの広場で、今年32年目となる恒例の「日高とりおい祭り」が開催されました。当日は、当初曇り空に覆われていましたが、徐々に晴

れ、風のない穏やかな天気となりました。

例年通り、広場では、餅つきの他、竹馬や羽根つき、缶ぽっくりなどの昔遊びのコーナー、また、お汁粉、豚汁、みそ田楽などを販売するテントなども並び多くの来場者が思い思いに楽しんでいました。

10時半になると、広場中央に集められた正月飾りなどに火が点けられ、どんど焼きが行われました。参加者は、どんど焼の回りに集まり1年の無病息災を祈願していました。

今年も日高中学校の生徒約30名が実行委員に協力して進んで手伝う姿が印象的で、「地域の大人や子どもと一緒に楽しむこの祭りは楽しい」と、地元の一員として祭りに携わることを楽しんでいるようでした。

鳥追い祭り：冬の間に田畑を荒らす鳥や害獣を追い払い、来季の豊作を祈る行事。

どんど焼き：正月飾りなどを燃やし、年神様を送り、無病息災・五穀豊穡を祈る火祭り。

どちらも「豊作祈願」を願うもので、鳥追いの締めくくりとして、どんど焼きの火祭りが行われる形が一般的で行われる地域が多い。



懇親を深める参加者

てみたい。  
松原 洋一さん  
ボランティア活動を通じて子供たちとのつながりが励みとなっている。これまでに続けてきた民話の会の活動を若い人につなげていき

中嶋 由佳さん  
皆さんと共に、健康で明るく楽しい1年にしたい。  
石井 慶昭さん  
丙午の年は経済が良くないと言われるが、今年は年男なので馬のように駆け上

暮らしたい。  
茅根 和彦さん  
処分場の拡張工事を完成させ、環境に配慮したきれいな設備を維持したい。  
石井 慎さん  
家族仲良く、健康第一に

目指したい。  
原田 真昭さん  
尺八の練習を始め、年末までには良い音を出せるようにしたい。  
齊藤 芳典さん  
今年はより業績アップを目指したい。

杉山 正夫さん  
平和で災害の無い地域を願う。今年はゴルフをもう少し頑張りたい。  
今年83歳となるが、高齢者クラブの幹事としてグラウンドゴルフを楽しみたい。

加藤 朱通さん  
元気で健康に、そして楽しくピアノを弾いていきたい。  
畑中 仁さん  
今年83歳となるが、高齢者クラブの幹事としてグラウンドゴルフを楽しみたい。

## 行事予定

(2月1日～3月末日)

日高学区市民自治会

○福祉役員会

2月4日(水)

○クリーンアップデー

東連津川清掃

2月8日(日)

○みそ作り教室

2月12日(木)

○健康講座

2月20日(金)

○再生資源拠点回収

2月22日(日)

○支部福祉協力員全体会議

3月12日(木)

○本部支部役員会

3月19日(木)

○ぼんぼり設置

3月21日(土)

○再生資源拠点回収

3月22日(日)



秋晴れに恵まれた昨年の11月1日から3日までの3日間、日高交流センターを会場として日高三世代文化祭が開催されました。会場



展示品に見入る来場者

# 日高三世代文化祭

日高学区の芸術が集結しました



自慢の喉に聴き入る皆さん



生け花と小中学生たちの作品

には、地元の子どもから大人たちが作成した絵画、写真、書道、切り絵、木彫り、そして生け花などがあるところ

## 小さな輪 大きな輪

### ひたか民話の会

聞いたことがある方もいるかも知れませんが、ひたか地区には民話がたくさんあります。朝ドラでも民話の一つである怪談が話題ですが、その民話を語り継ぐ「ひたか民話の会」があります。発足は昭和59年。先輩が地元の民話を古老から聞き取り、諸文献を参考にまとめ遺してくれたものを基に語り部として活動しています。



「ふるさと昔ばなし」33話やひたち・茨城の民話を広く知ってもらうために、主に小学校やお元気クラブ、介護施設などに出向いて語っています。地元の実際にある場所の話を地元の言葉で聞くのは、不思議で懐かしくそして楽しい体験。とても喜んで貰えるそうです。

メンバーは高齢化により現在5名。民話に興味のある方や地域を知りたい方は語らずとも、ちょっと昔ばなしの世界に浸ってみませんか。

活動するメンバーを募集しています。

連絡先

42—9023岩間まで  
(菊池理可子)



園児たちのかわいい作品

狭しと展示され多くの人がその出来栄を鑑賞していました。2日の日曜日午後にはカラオケ大会が2階の会議室で行われ、飛び入り参加者も含め日ごろ鍛えた喉を披露し、会場を大いに沸かせていました。

## 日立シーサイドマラソンを応援

11月16日に開催された「日立シーサイドマラソン」に、当自治会から30名のメンバーが運営サポートとして参加しました。当日は好天に恵まれ、海沿いの爽やかなコースを舞台に、多くのランナーが力走しました。



沿道からの声援を受け、力走する選手

「日立シーサイドマラソン」を改めて感じた「また上り坂を前にした選手へ「まだまだ行けるよ！笑顔で楽しくいこう」、「もう少しがんばりましょう」、「フアイト！」など大きな声援を行っていた。大会を盛り上げました。

## 旬の花巡り サザンカ

11月に入ると濃い緑色の葉にピンク色した山茶花(サザンカ)が咲き始めます。

ピンク色の花が多いですが、薄いピンク色や白色の花も見かけることがあります。1本の花樹として、あるいは生け垣としてあちこちで目に入るはずですよ。花期は長く数か月続きます。

花言葉は「困難に打ち克つ」で、寒さが増してくる初冬でも色鮮やかに咲く姿に由来しています。童謡「たきぎ」の歌詞(♪さきんかさんかさいたみちたきびだ...)に登場する花として

も記憶にあることでしょうか。似た花にツバキがありますが、それは花ごと落ちるのに対して、サザンカはひらりと花びらが落ちていきます。

ゆりの木通りに面した「榊プロテリアル日高クラブ喜楽亭」の整然と刈り込まれたサザンカの生け垣は、一際きれいでした。



日高クラブ入口に咲くサザンカ

交流センターの広場にある日立紅寒桜が開花しました。可憐な花を楽しみにお越しください。



# 「ふくしのつどい」で表彰

## 地域福祉に貢献の野崎さん・宇佐美さん 民生委員児童委員功労者7名が受賞

11月11日、日立シビックセンター音楽ホールにて、日立市社会福祉協議会主催

の「ふくしのつどい」が開催され、市内23学区の福祉関係者が参加しました。

永年、福祉活動に尽力

し、日立市の地域福祉の向上に貢献された方々に對して、日立市社会福祉協議会会長顕彰が授与されました。

### 受賞おめでとうございます

日高学区からは、野崎幸子さん、宇佐美吉郎さん、佐藤裕さん、小林修さん、原田千代子さん、高畑仁子さん、豊田賢一さんが表彰を受けました。野崎さんは、宿東おげんきクラブのボランティアとして発足当初から会

を支え、平成29年度から活動を開始した日高学区独自の見守り支援事業では、安良宿東の支部福祉協力員として地域の要支援者宅への訪問及び声掛け支援を担っています。

宇佐美さんは、日頃から地域福祉のために尽力され、多方面で社会福祉支援に寄与したとして表彰を受けました。

佐藤さん、小林さん、原田さん、高畑さん、豊田さんは、民生委員児童委員として、地域の相談役、行政へのつなぎ役など9年以上に渡り地域福祉に貢献。高齢者や障害のある方の相談に親身になって寄り添い、丁寧な活動をされています。

## 国立科学博物館見學と 東京観光を楽しむ

日高学区市民自治会本部役員相互慰勞と研修を兼ねた恒例の研修旅行を28名の参加により12月7日に実施しました。

今年メインの東京上野の国立科学博物館の常設展示物の見學と築地場外市場での「すしざんまい」昼食、浅草の浅草寺および仲見世見學です。

国立科学博物館見學では世界のわに展、多種多様な化石、古代人の人骨、いろいろな動物標本など盛沢山の展示物を見學しました。特に「南極犬「タロ」のジロ」忠犬「ハチ公」のはく製が展示されていました。



国立科学博物館前にて

## 日立市「ミニニティ活動 功労者4名が受賞

令和7年11月1日、日立市シビックセンターにて日立市ミニニティ推進協議会主催の設立50周年記念式典が開催されました。

この式典には市内23のミニニティ推進会（自治会の会長23名と各自自治会で長年活動の推進に功労のあった68名が一堂に会し、小川春樹日立市長から表彰状を授与されました。

日高学区からは、志賀勝弘会長、小澤邦子副会長、志賀信夫市民交流局長、坪井善吉生活環境局長の4名が受賞されました。

式典終了後は、テレビのお天気キャスターとして人気のある天気予報士の依田司さんから、最近の異常気象の概要や、災害から身を守るために日ごろから心がけるべき注意事項などについて、ユーモアを交えた講演があり、500人ほどの聴衆は熱心に聴き入っていました。

## 民生委員・児童委員が 改選されました

令和7年12月の民生委員・児童委員の一斉改選で、日高学区では39年に渡り民生委員を務められた樫村守さんが退任されました。樫村さんは在任中、地域の相談相手、助言者として福祉問題の解決に貢献してきました。平成29年度には、厚生労働大臣特別賞を受賞されています。長年の活動ご苦労様でした。

民生委員は、地域の皆さんの生活上のお困りごとの相談を受け、行政や専門機

関へつなぐ仕事を中心に、お年寄りや障害者、子どもたちの見守り相談活動など地域福祉の核になって活動しています。

日高学区では、再任を含め、次の方々が厚生労働大臣より委嘱を受けました。表記は、氏名（敬称略）電話番号担当地区

佐藤 裕（42） 3765  
日高町1丁目11番20番  
5丁目9番12番  
藤田博美（42） 4801  
日高町1丁目21番26番  
28番33番  
小水津町1丁目11番13番  
宇佐美吉郎（42） 3264

日高町1丁目27番  
小水津町1丁目27番  
2丁目11番6番  
木田金房（42） 4965  
日高町2丁目11番3番  
小水津町3丁目11番18番  
小水津町松木下団地周辺  
皆川治子（43） 6614  
小水津町3丁目19番31番  
矢部一良（42） 3035  
日高町2丁目4番13番  
5丁目11番3番  
小野紀代美（42） 4564  
日高町3丁目12番29番  
小野初江（42） 4307  
日高町3丁目11番11番  
小水津町4丁目11番9番  
小林 修（42） 3362

日高町4丁目全部  
5丁目4番8番  
原田千代子  
（09066561175）  
小水津町1丁目14番26番  
29番42番  
石井慶昭（43） 7411  
小水津町2丁目7番20番  
小水津町旧番地  
常磐線山側  
高畑仁子（42） 2731  
小水津町4丁目10番44番  
22番34  
豊田賢一（42）  
小水津町5丁目全部  
小水津町旧番地  
常磐線海側  
日高町3丁目30番  
小泉安宏（42） 4080  
主任児童委員（学区全域）

## 支部役員の改選準備を

各支部・町内会では、令和8年度の支部役員（支部長、副支部長、常任委員、自治委員）の改選の準備を進めてください。

支部長は任期が2年となっていますが、支部内でも協議して選出してください。その他の支部役員は任期が1年ですが、各町内とも高齢者などに配慮して決めているようです。

1月30日の市民自治会役員会で詳細の説明し、改めて新役員選出のお願いをします。現支部長には、2月末日までに、新役員の名簿をまとめ、市民自治会事務局まで届けていただきます。



小川市長から表彰を受ける受賞者

# わら細工教室

## 新年に向けて心を込め

年末の21日に、市民自治会主催のわら細工教室が日



わら細工作りに熱中

地元の小野俊郎さんから稲わらが、木田勝壽さんからはずり葉が提供され、事務局がしめ飾り用のお飾りを用意しました。

志賀会長のあいさつの後、参加者はさっそく2階会議室で作業を開始。経験の浅い人も上手な人の指導を受けて、1時間半ほどで皆、それなりの形に仕上げました。最後に完成品を手全員で記念撮影。多少形が悪くても、自分で作ったしめ飾りで新年を迎えることに満足して会場を後にしました。

高交流センターで開かれ、参加者28名が集まりました。

# 茨城県小・中学校芸術祭

## 6名が優秀作品

令和7年度の茨城県小中学校芸術祭において、日高小学校、日高中学校では次の児童・生徒6名が入賞しました。おめでとうござい

### 日高小学校

絵画・デザイン部

1年 矢吹 航大

5年 秋元 結奏

書写部

1年 岡 結大

3年 石原 瑞波

### 日高中学校

絵画・デザイン部

3年 渡部 心春

書写部

3年 金澤 美空

# ふるさと郷土

## ひたか (32)

### 横内地区の野仏群

日高幼稚園の北側、日高小学校から交流センターに向かう上り坂の左側の窪地（天道山の麓）に舟形を背にした六つのお地藏様や、馬頭観音、立膝をした如意輪観音さまたちが仲良く並んで立っている。

横内に住む古老にお話を伺うと、以前横内地区ではこのお地藏さんたちを中心とした地域の婦人たちが、年数回、各家の持ち回りで、お茶や料理を食べながらお話をすることになった。話をするお念仏（講）があり、女性たちの数少ない社交の場として楽しかったとのことである。

また、現在は7月最終日曜日の富士神社のお祭りの際には、地元の若者たちが、この周りの草刈りを行って



ひっそり佇む六地藏

六地藏とは、地藏菩薩が六道（生前の行いによって輪廻転生するとされる六つの世界）に対応して並んだもので、死者の魂が迷わず成仏できるように導く存在と言われている。

# 東連津

スポレク部 皆川武美

## 猫

我が家には猫が4匹いる。4匹もいれば当然、ソファアがボロボロ、壁はバリバリ、カーテンもビリビリ。お猫様が「にゃー」と鳴けば、ご飯ですか？お水ですか？なでなでですか？ご飯は、朝はニャンスプーン、昼はカリカリ、夜はウェットフード。マグロ味がいい

の？黒毛和牛味？ササミはどう？至れり尽くせり、まるで人間はお猫様のしもべのようだ。一家の主より大事にされている。膝の上に乗って「にゃー」と鳴けば何をされても「あーかわいい!!」ですべて帳消し。「かわいい、かわいい」と言い続けてはや5年。あと何年続くのか。お互い頑張ろう。でも、真夜中の運動会は止めてくれないかな。

## お詫びと訂正

第227号の記事「日高球友クラブ全国初Vに」において、今年の全国大会に参加したチームを44と記載しましたが、実際は64チームでした。ここにお詫びいたしますと共に訂正をさせていただきます。

## 編集後記

あつという間に年が明け、間もなく節分春の訪れです。まだ寒さ真つただ中ですが、道を歩くと桜梅の香りが水仙のかわいらしい花が春を感じさせてくれます。

広報の紙面から時事だけでなく季節も感じてもらえたら嬉しいですね。

また、春に向けて記事が何かの行動のキッカケとなることを願う次第です。

(菊池理可子)

# あの人この人

日高町 遠田正樹さん (51歳)



## 前向きに生きる

さんは10数年前に日高学区に居を構えました。

日立市役所に勤務しながら日高学区市民自治会「まつり部」幹事に所属する遠田さんは、何事にも積極的に関わる方です。

「ひたちサイドマラソン」での4時間台の完走をはじめ、毎年の「おんもさ祭り」での神輿の担ぎ手等、率先して地元を盛り上げ、にぎわいを創出しています。助川学区で生まれた遠田

務め上げました。小・中学校のPTA会長を歴任された現在は「ひたか応援隊」を立ち上げ、20数名の会員とともに、学校を側面から援助しています。昨年の小学校の奉仕作業でもその一端を見ることができました。

静原に4人家族で住んでおり、ここ数年は高校生の息子さんと海釣りにはまっているそうです。その日数は、年間50日を超えるほどで遠くは自家用車を走らせて石川県まで行ったことも話してくれました。

(豊田賢一)